

平成 25 年度 長生園デイサービスセンター事業報告

《概要》

介護保険制度による『通所介護』『介護予防通所介護』事業を「通常規模型」で実施して参りました。

サービス提供時間は昨年度に引き続き、6 時間 15 分（9：30～15：45）と 7 時間 15 分（9：30～16：45）にて取り組んで参りました。

利用者動向としては昨年度（24 年度）同様、6 時間 15 分枠を希望される方が 8 割程度を占めております。

7 時間 15 分枠を希望される方は少ない状況です。

また、公的外サービスとして介護保険外の利用も若干ではありますが受入がありました。

公的外サービスを利用される方の傾向としては、限度額を超えてしまう方の経済的負担軽減での利用が最も多く、公的外サービス単体での利用はありませんでした。

今年度の利用者動向としては軽い介護度の方が立て続けに施設（住宅型有料ホーム等）への入所が目立っていたように思われます。

新規のご利用者も少なく、実績が大きく低下した一年でした。

1. 利用者の状況

事業別	実利用者月平均	月間延べ利用者平均	年間延べ利用者数
① 通所介護事業	41	379.4	4553
② 介護予防通所介護事業	17	60.3	723
③ 公的外サービス	9	17.9	215

介護保険実績推移（過去 3 年比較）

<25 年度>①4553 人+②723 人=5276 人

<24 年度>①4551 人+②756 人=5307 人

<23 年度>①5344 人+②583 人=5927 人

(延べ)

利用時間別	6 時間 15 分	7 時間 15 分
① 通所介護事業	3179	1374
② 介護予防通所介護事業	465	258
③ 公的外サービス	112	103
合 計	3756	1735

□レクリエーション（担当：島田）

当センターは地域の環境に恵まれており、利用者への移動の負担も少なく近隣公園等への散策が行えました。

日常的に行うレクリエーションは全職員で係る体制（日替わり当番）を行う事で、職員が責任感を持って取り組む事が出来たと考えます。

また、職員全員が考える事でレクリエーションの内容も充実してきたと思われます。

初めて取り組んだ、お菓子作り（ホットケーキ作り）は利用者から好評でしたので、次回は違う形で提案したいと考えています。



□個別機能訓練（担当：馬込）

当センターでは「個別機能訓練加算Ⅰ」を算定しております。

各利用者には個別援助計画に沿って個別機能訓練計画書を作成し、個々のニーズに応じた訓練の実施に努めて参りました。

4月から10月にかけてPT不在の中、看護職員を中心に研修等の情報を参考にしながら取り組みを行い、11月からはOTの入職もあり利用者個人に対する的確な見極めや職員に対する助言指導を受ける事が出来ました。

またプーリーや簡易サイクルマシンなど、従来の設備に加えて新たな器具の導入も行いました。

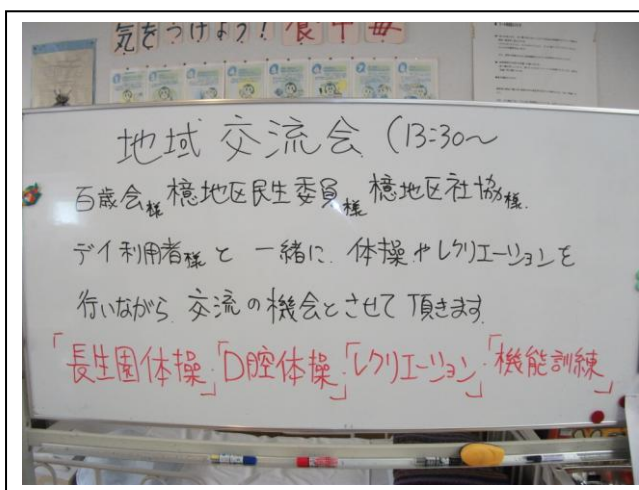


□地域交流会（担当：海野）

「地域交流会」の名称にて地区老人会・民生委員への呼びかけを行いながら昼食会やレクリエーションへ参加頂きました。

一昨年の反省から「昼食会」だけではなく、体操・レクリエーションを通して交流を図る取り組みを行った結果、「食事よりは気楽な気持ちで来れる」との言葉も聞かれました。

2ヵ月おきに実施して参りましたが、インフルエンザの流行や先方（老人会・民生委員）も行事予定等の都合にて中止となる事や、毎回決まった方が参加される等、幅広く交流を行うとの趣旨からは課題が残りました。



□リスクマネジメント（担当：児玉）

25年度に発生した事故の内訳としては以下の通りです。

項目	件数	備考
体調急変	1	利用者個々の体調による
負傷事故	9	事業所内での転倒等（利用者が負傷）
交通事故	0	送迎中における物損事故
ヒヤリハット	15	事故には至らなかったが、負傷事故の危険性があると判断される案件

25年度は10件の利用者に係る事故（急変含む）と15件のヒヤリハットが発生しております。

事故の件数は一昨年より7件少なく、ヒヤリハットが6件多く報告されました。

リスクマネジメント研修やミーティングでの注意喚起を行う事で、職員の意識が向上し、自発的な報告と他職員への周知を行う事が出来た事で、結果的に負傷事故が少なくなったと推測します。

また、事故・急変への対応能力に置いては各分野（看護・介護・相談員）の職員が連携して対応する事が出来たと考えます。

負傷事故の内容としては処遇中（入浴介助・トランスファー時など）の皮膚剥離が多くありました。

防災訓練では東北大震災を教訓に津波被害を想定して避難訓練を行う等、防災意識の向上に努めて参りました。

恒例の研修として救命救急実務研修（他部門との共同開催）も行いました。

